



2006年5月10日

日本女子テニス連盟 会長 宮城 黎子

乳がん検診用医用機器・マンモグラフィ寄贈についてのご案内

日本女子テニス連盟（東京都杉並区／会長・宮城黎子）は、「乳がん早期発見・啓発キャンペーン・ピンクリボン レディース テニス大会」を2003年4月より全国47都道府県で予選大会を、「乳がん月間」の10月に全国決勝大会を開催し3年間で延べ24,000人強の参加がありました。ピンクリボンバッジと自己検診ノートを500円で販売し一部経費を差し引いた金額を「ピンクリボン基金」として積み立てた結果、特別協力：株式会社島津製作所のご支援のお陰でマンモグラフィ2機の購入が今年中に可能になりました。

大会開催に際しては、特別協賛：アメア スポーツ ジャパン株式会社、協賛：エイボン・プロダクツ株式会社、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、東レ株式会社、協力：ウイダー inゼリー、株式会社ワインバズほかのご支援を頂いています。大会参加者を始め、多くの方々からのご協力でピンクリボン基金が今年中に集まる事から、当初の目的の一つである乳がん検診用医用機器・マンモグラフィを購入し、基金を活用する「日本女子テニス連盟マンモグラフィ寄贈」プログラムの寄贈先を下記の要領で公募する事が、4月18日行われた当連盟総会に於いて了承されましたので、ご案内申し上げます。

テニスを通じて大会参加者のみならず、日本女子テニス連盟会員、多くのテニス愛好者に「乳がん早期発見啓発キャンペーン」を行うことで、自己検診とマンモグラフィでの検診の重要性が広まれば、現在、「乳がん」が壮年女性のガン死亡率第1位と言う汚名を少しでも取り除けるのではないかと考えています。

この大会参加者に乳がん検診のアンケートを実施していますが、毎年8%ですがアップしており、乳がん検診学会にも貴重な資料として発表されています。

今後とも、テニス大会を継続すると共に日本中にピンクリボン運動の輪が広まる事を願っています。

ピンクリボンは乳がん早期発見・啓発を願う世界共通のシンボルマークです

「日本女子テニス連盟マンモグラフィ寄贈」プログラムは、全国各地で乳がん早期発見啓発のための検診を積極的に行っている機関、又はマンモグラフィを必要としている所にご応募いただき、その活動に役立てて頂きたいと思っております。日頃、当連盟がお世話になっている乳がん有識者の先生、日本女子テニス連盟理事会の書類選考により、「島津マンモグラムシステム SEPIO-STAGE」2機の贈呈先を決定します。

応募締切りは7月10日(当日消印有効) 募集概要は添付の資料をご参照ください。

発表は7月下旬を予定しています。



<日本女子テニス連盟について>

日本女子テニス連盟（財団テニス協会・協力団体）は 1967 年に日本の女子テニスの層をもっと厚くし、世界に活躍するプレーヤーを支援したいと言う有志が集まり 75 人で発足しました。女子初心者へのためのトーナメント、練習会、親睦会、映画会、講演会、当時、未だ行われていなかった 12 歳、14 歳以下の年齢別トーナメントなどを意欲的に開催し活動しました。直ぐに関東近県に支部が出来始めましたが、全国 47 都道府県に支部が出来るまでには 23 年の長い月日が必要でした。

全国レディーステニス大会は全国で予選が行われ、代表による全国決勝大会で技を競う場が出来た事で支部の結束が促進され、テニスは飛躍的に普及しました。

大会を開催する為にルールや審判の養成や試合の運営方法などの研修が必要となり、本部では指導法の伝達や支部とのコミュニケーションを計ることに力を入れました。その結果、現在日本テニス協会の審判資格を持つ会員は 1,000 人を超し、更に国際テニス連盟の国際審判員も 10 数名を数え、全国各地で行われる国内、国際大会の運営に協力する事のみならず、世界各国で行われる国際大会でも活躍して居ります。

また、将来のテニス界を担う「ちびっ子テニス」の講習会、「母と子のテニス大会」も長年にわたり開催して居ります。2003 年には初の日本女子テニス連盟主催の全国大会として乳がん早期発見・撲滅キャンペーンテニス大会「ピンクリボン レディース テニス大会」がスタートしました。（後援：朝日新聞社、特別協賛：アメアスポーツジャパン(株)、協賛：エイボン・プロダクツ(株)、キャノンマーケティングジャパン(株)、東レ(株)、協力：ウイダー inゼリー、ワインバズ他）

その他、指導員の養成を目指した検定会、社会貢献の一環として車椅子テニスやハンディキャップテニスの運営協力、国連難民教育基金、エイズ募金、ALT募金など微力ですが社会貢献活動を行っています。これらの活動が出来るのは、協賛企業のご支援のお陰であることは言うまでもありません。これからも日本中にテニスを根づかせる活動をしていきたいと考えています。会員数：36,516 名（2006 年 3 月現在）

日本女子テニス連盟HP

<http://www.tennis.or.jp/jltf/index.htm>



日本女子テニス連盟マンモグラフィ寄贈プログラム 概要

- 1 寄贈品** 島津マンモグラムシステム SEP I O-STAGE 2機
1. 本体：X線高電圧装置、X線管装置、Cアームを含む一体
 2. 標準装備：18X24cmカセット用ブッキー撮影ユニット
18X24cmカセット用圧迫板、頭部保護板、
ハンドスイッチ、フィルムマーカ、管理ファントム
- * LEX-ACE（定価：¥4,500,000）はオプションです。
* 据付料込み。X線設置可能な設備のある所に限定。
- 2.目的** 乳がん早期発見啓発に取り組むことで、日本女性のマンモグラフィでの検診受信率を上げ、乳がん死亡率を下げる事に役立てる。
- 3.応募資格** 乳がん早期発見・啓発に積極的取り組む機関。
- 4.応募方法** 申請用紙に必要事項を記入の上、団体概要等の資料を添付して送付のこと。
- 5.用紙請求
申請提出先
およびこの
プログラム
に関する
お問合せ先** 〒166-002 東京都杉並区高円寺北 3-22-3 デルコホームズ 501
「日本女子テニス連盟マンモグラフィ寄贈プログラム」係
(ファクス：03-3223-5405 電話での対応は不可)
*用紙は日本女子テニス連盟公式ホームページからも入手可能(PDF)
お問合せは、ピンクリボン大会委員長小田晶子宛にMailでお願いします。
[Akiko1-1@sa3.so-net.ne.jp](mailto:akiko1-1@sa3.so-net.ne.jp)
- 6.応募締切** 2006年7月10日(金)(当日消印有効)
- 7.選考方法** 日本女子テニス連盟理事会及び乳がん有識者による書類選考
- 8.選考の視点** 1) 乳がんの早期発見・啓発に取り組む活動を積極的に行っている、又は、今後取り組みを予定している機関に限る。
2) 規模の大小は問いませんが、実質的な活動を行う機関。
3) その他、寄贈先の趣旨に合致すると思われる機関。
- 9.発表** 発表 2006年7月下旬(予定)

個人情報保護法により本来の目的以外に使用しないで下さい。

以上



日本女子テニス連盟マンモグラフィ寄贈プログラム申請書
(病院・診療所・その他)

該当する方に ○をつけてください。

申 請 者	住 所	〒
	法 人 名	
	代表者氏名	
	連絡者名 連絡先	TEL () — FAX () —

1 機関名及び所在地
2 設置予定場所
3 乳がん検診実施状況 (簡潔に)
4 今後のマンモグラフィ活用の予定
5 申請機関のHPアドレスまたはパンフレット送付(概要が分かるもの)

*添 付 書 類

- ①「乳がん検診」について活動状況報告書を作成されている場合は、送付して下さい。